



12月1日は「世界エイズデー」

世界エイズデーは、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO(世界保健機関)が1988年に制定したもので、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

エイズってどんな病気？

Acquired	Immuno - Deficiency	Syndrome
後天性	免疫不全	症候群
(生まれつきではない)	(免疫の働きが低下している)	(いろいろな症状の集まり)

エイズはHIV(ヒト免疫不全ウイルス)というウイルスによって引き起こされる感染症で、体を病気から守っている免疫力を破壊してしまう病気です。健康な時には体の中に入っても病気を起こさないような弱い病原体に対しても抵抗力を失い、重症の肺炎や脳炎などを起こします。



エイズの感染経路 (どのようにかかるか)



1. 性的接触

HIVは主に血液や精液、膣分泌液に多く含まれています。そのため、性行為による感染が最も多い感染経路となっています。

2. 血液感染

HIVが存在する血液の輸血や依存性薬物の回し打ち(注射器の共用)などによって、感染の可能性が出てきます。

3. 母子感染

HIVに感染した女性が妊娠中や出産時、授乳時に胎児や赤ちゃんにHIVを感染させてしまうことです。

※予防をすることで、母子感染の割合が↓↓



HIVの感染力は弱いので、性行為以外では日常生活の中でうつる心配はありません(以下のことではうつりません)。

- 咳やくしゃみ、汗、涙に触れる
- 洋式トイレの便座に座る
- 電車のつり革、階段の手すりを触る
- 職場や学校での生活
- カラオケのマイク
- お風呂やプール、洗面台の使用
- 飲み物の回し飲み
- 感染した人を刺した蚊に刺される
- 感染した人が調理した食べ物や飲み物などを摂取する



HIVを 予防するには

HIVは血液、精液、膣分泌液などに多く分泌されますので、それらの体液が粘膜や傷のついた皮膚に触れないようにすることが必要です。HIV感染の1番多い感染経路である性行為の場合、HIV感染を防ぐためには、必ずコンドームを使用すること、また、相手に使用してもらうことが重要です。

性感染症予防には
コンドームの使用が大事だよ!



早期発見が重要!

治療開始の遅れは、生活の質の低下や生命予後の悪化につながります。

昔は不治の病というイメージから恐れられていたエイズ。現在は医療の進歩により、適切な治療によって症状をコントロールすることで、普通の生活を送ることが出来るようになっています。早期発見、治療のためにもHIV検査が重要です。

血液検査



HIV検査は全国のほとんどの保健所等で無料・匿名で検査が受けられます。



皆さんも、この機会にHIV/エイズに関する正しい知識を身につけましょう!

